



# はーもにー

TCS 運営委員会 2019

No.4 2019.10.31

## 合唱と朗読のこと

柿澤 弘子

私の合唱歴は娘の小学校入学時に始まります。音楽の先生が顧問の合唱部があり、きちんと出席できるかしらと逡巡していた私に「来られる時で・・・」と幹事をしていた石崎さんが声をかけてくれました。

音楽は勉強していなかった私ですが、PTAの合唱部は娘が小学校を卒業するまで続きました。その後地元の混声合唱団に入り、今TCSで歌っているようなミサ曲、組曲、童謡などをうたいました。

仕事が定年の頃タイミングよくTCSが海外へ行く募集がありました。「ウイーン」「ザウツブルグ」「ブラハ」と2年も続けて「モーツアルトのレクイエム」「ブルックナーのミサ曲」など歌いに行きました。たまたま誘っていただいた方に感謝です。

そしてTCSに入団、現在に至る訳です。

合唱大好き、こんなに長い間楽しめるとは思っていなかったのです。長いだけで未熟な団員でいつもご迷惑をかけています。最近は立ち練習や舞台の2時間が辛いとか、通うのが遠いとか悩みはありますが、仲間がたくさんいる護国寺で頑張ろうと思っています。

もう一つ頑張っているのが「朗読ボランティア」、これも定年後読売カルチャーで勉強、目の見えない方のために毎月雑誌を読んでデジタル録音をする仕事です。最初はテープ録音でしたが現在はデジタルに変わりパソコンで読みます、

大変便利になりました。

また、この読売ボランティア朗読グループの仲間たちも、ボランティアとは思えないほど熱心で、80人ほどのメンバーが「中央公論、福祉労働、明日の友、きょうの健康・・・」などを読んで、図書館や希望者に配布しています。

私は10年ほど「きょうの健康」を読んでいましたが、現在は「全国腎臓病協議会」の会報、腎臓の病気、透析患者、医療関係者が読んでいる会報です。

雑音、言いよどみ、口中音、誤読など注意すること多々、時間厳守、仕上げるまで手数がかかります。でも待つて下さる視聴者がいて励みになります。

自分では全然やめようとは思っていなかったのですが、先日、高齢だから一緒にやる人を増やさなければと云われてショックでした（今は2人でやっている）。しかし休むことも突然やめることもできないので、そろそろ後輩に引き継がなければと考えている所です。

考えてみると声を出すことばかりだなーと思います。身体も鍛えないといけませんねー。

それもこれも家族の理解と自分の健康、仲間あってのものです。周りに感謝感謝です。

## 運営委員会からのお知らせ

- 「文京区合唱のつどい」1月26日（日）開催は申し込み多数で抽選の結果TCSは当選しました。練習に励みましょう。

編集後記 芸術の秋、何が人の心を動かすかを学び、聴く人をハッとさせる演奏を目指そう。(い)  
連絡先：鈴木美樹 miki.561739@gmail.com